

令和8年度地域課題解決共創事業「One+」 特定テーマ申請書

希望テーマ名	“行きたくなる手づくり村” SNS・デジタル戦略プロジェクト
テーマ要旨 (課題の概要)	<p>【背景と課題】</p> <p>現在盛岡手づくり村は、情報発信が施設側からの周知に留まっており、若年層への訴求力や SNS を通じた双方向の繋がりが弱いという課題があります。</p> <p>また、商品や売場についても若者層やインバウンドへの訴求が弱く、商品の見せ方の工夫等の売場づくりの改善に加え、西部地域連携（つなぎ温泉・小岩井農場）の観光動線強化による「消費につながる仕組みづくり」が必要です。</p> <p>【課題解決を目的にした特定テーマの内容】</p> <p>「学生の感性」と「デジタル戦略」を融合させることを目的に、以下のテーマを申請します。</p> <p>1 SNS 運用の刷新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生チームによる Instagram・TikTok の運用を通じ、ターゲットに近い目線でトレンドを捉えた発信の実施。 <p>2 コンテンツ開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸に「映え」の要素を加えた新体験メニューの提案や、職人の素顔に迫るショート動画の制作等。 ・SNS と連動した売場づくり（フォトスポット設置等）により、SNS を通じた自発的な情報発信を誘発し、自ら訪れ、購入し、発信したくなる「売れる空間」への再生。 <p>3 拡散施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサー等との連携により、一方的な情報伝達ではない、共感と拡散を軸としたデジタルマーケティングの展開。 ・つなぎ温泉・小岩井農場と連動した魅力発信及び周遊モデルコースの開発・発信。
期待する効果	<p>1 若年層へのイメージ刷新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生視点での「映える体験」の開発や SNS 上の発信を通して、伝統工芸の持つ「堅い・古い」といったイメージからの脱却。 <p>2 SNS を通じた来訪動機の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画コンテンツやインフルエンサーによる共感性の高い発信により、潜在顧客の「行ってみたい」という来訪動機を創出。 ・つなぎ温泉・小岩井農場との連動により周遊率を向上。 <p>3 広告費をかけない自走型誘客モデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 上での自発的な UGC や口コミを仕組み化することで、有料広告に依存しない自立的な情報拡散のサイクル・持続可能な誘客モデルの構築
担当所属	ものづくり推進課
担当者氏名	津川、鈴木
連絡先電話番号	019-626-7538（内線 8123）

E - m a i l	monozukuri@city.morioka.iwate.jp
協 力 内 容	<ul style="list-style-type: none">・SNS（Instagram・TikTok）の運用やショート動画の制作。・伝統工芸に学生目線の要素（「映え」の要素）を加えた新体験メニューの提案。・若者目線による魅力的な売場づくり・つなぎ温泉・小岩井農場と連動した周遊モデルコースの開発・発信
そ の 他	<ul style="list-style-type: none">・インフルエンサーと連携した場合、費用（予算）の補助は可能か。